

正々堂々

町田市立薬師中学校
第3学年 学年だより
令和8年4月10日
第3号

学年目標は「正々堂々」

今年、私たちが大切にしていきたい言葉は「正々堂々」です。少し硬い言葉に聞こえるかもしれませんが、そこには皆さんに伝えたい2つの、大切なメッセージを込めています。

1 自分の「強み」を、自分で認め、活用できるようになる

「正々堂々」の第一歩は、自分に嘘をつかないことです。皆さんは、自分の「強み」を知っていますか？「これなら頑張れる」「ここは負けない」「この作業が好き」……どんなに小さなことでも構いません。自分の良さをしっかり自覚して、それを「どう活かそうかな？」と考えながら物事に取り組む。そんなふうに、自分を上手にプロデュースできる人になってほしいのです。自分の強みを知っている人は、壁にぶつかっても、堂々と前を向いて歩いていきます。

2 「自分たちの手」で、安心できる場所を創る

もう一つは、この学年を「誰にとっても居心地のいい場所」にすることです。先生に言われたからやるのではなく、皆さんが自分たちで考え、行動する「自治」の姿を期待しています。「どうすればみんなが楽しく過ごせるか」「困っている仲間がいないか」。自分たちでルールを守り、お互いを思いやる。そんなふうに、みんなが「ここは安心できる場所なんだ」と思える空間を、正々堂々と自分たちの手で築き上げていきましょう。

「正々堂々」と胸を張って過ごす毎日は、きっと皆さんを大きく成長させてくれます。卒業する時に「この学年で、この自分で、本当によかった！」と笑顔で言えるように、最高の1年を創っていきましょう。私たち教員も、全力で皆さんを応援します！



委員会・部活動紹介

今週の木曜日、体育館で行われた「委員会・部活動紹介」。全校生徒を前に、実演を交えて堂々と発表する3年生の姿がありました。その表情は、つい先日まで「2年生」だった頃とはどこか違う、最上級生としての頼もしさに満ちあふれていました。

部活動の紹介では、息の合ったプレーや美しい音色、真剣な眼差しが、委員会紹介では、学校生活を支える責任感と、1年生を安心させるような温かい言葉がありました。それぞれの場所で、皆さんが「自分の役割」を一生懸命に全うしようとする姿が、体育館の空気をパッと明るく、そして引き締まったものにしてくれました。

何より素敵だったのは、1年生が緊張した面持ちで見つめる中、皆さんが全力でパフォーマンスを披露してくれたことです。その「一生懸命さ」こそが、どんな言葉よりも1年生の不安を吹き飛ばし、「中学校って楽しそうだな」という期待に変えてくれたはずです。

学校を動かすエンジンは、今日から名実ともに皆さん3年生です。「あんな先輩になりたい」「3年生についていけば大丈夫」。1年生にそう確信させた、皆さんの誇らしい姿に心から拍手を送ります。

